

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月8日

上場会社名 日本農薬株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4997 URL https://www.nichino.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩田 浩幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部総務・法務部長 (氏名) 吉岡 正樹 (TEL) 0570-09-1177  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	22,183	△7.6	1,385	△50.2	1,326	△57.0	1,038	△58.6
2023年3月期第1四半期	24,015	45.5	2,781	68.5	3,085	74.6	2,509	53.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 3,443百万円(△23.9%) 2023年3月期第1四半期 4,522百万円(318.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 13.24	円 銭 —
2023年3月期第1四半期	32.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第1四半期	百万円 139,649	百万円 75,920	% 52.8
2023年3月期	136,652	73,125	51.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 73,663百万円 2023年3月期 70,915百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 16.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,000	4.2	1,900	△37.3	1,600	△50.0	1,100	△57.4	14.03
通期	104,000	1.9	8,300	△5.0	7,500	△3.6	4,700	4.7	59.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	81,967,082株	2023年3月期	81,967,082株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	3,543,730株	2023年3月期	3,543,527株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	78,423,452株	2023年3月期1Q	78,424,004株

期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧州では高インフレによる金融引き締めの影響から景気は足踏み状態にあります。米国や中国は個人消費や輸出の持ち直しから緩やかな回復基調で推移しました。一方、わが国では新型コロナウイルス感染症対策の規制緩和に伴い社会経済活動の正常化が進み、個人消費や企業の生産活動に持ち直しの動きがみられました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や原材料・エネルギー価格の高騰、円安進行による物価の上昇など景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような状況下、当社グループは中期経営計画「Ensuring Growing Global 2 (EGG2)」に取り組み、収益の向上と技術革新・次世代事業の確立および持続的な企業価値の向上を目指しました。

当第1四半期連結累計期間における主な取り組みとしては、化学合成農薬以外の事業ポートフォリオ拡充を目的として、英国のアジュバント等の添加剤やバイオスティミュラントの製造・販売会社であるInteragro (UK) Limitedの全発行株式を、当社連結子会社のNichino Europe Co., Ltd. が取得しました。また、スマート農業への取り組みでは、スマートフォン用アプリケーション「レイミーのAI病害虫雑草診断」の機能向上の一環として、新たに「図鑑」機能と「その他野菜」の診断機能を追加しました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、中核事業である農薬事業が国内、海外ともに天候不順や過年度の流通在庫の影響などから伸び悩み、221億83百万円（前年同期比18億32百万円減、同7.6%減）となりました。利益面では、営業利益は13億85百万円（前年同期比13億95百万円減、同50.2%減）、経常利益は13億26百万円（前年同期比17億59百万円減、同57.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億38百万円（前年同期比14億71百万円減、同58.6%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は以下のとおりです。

#### [農薬事業]

国内農薬販売では、水稻用殺虫剤ベンズピリモキサン（商品名「オーケストラ」）を始めとする主力自社開発品目の普及拡大に努めました。しかしながら、過年度の流通在庫の影響などから販売が伸び悩み、国内販売全体の売上高は前年同期を下回りました。

海外農薬販売では、世界最大の農薬市場であるブラジルで多雨によりサトウキビ向け除草剤需要が拡大したことなどからSipcam Nichino Brasil S.A.の売上高が伸長しました。一方、寒冷な気候が続いた北米では例年よりも害虫の発生が少なく殺虫剤需要が減少し、Nichino America Inc.の売上高が伸び悩みました。また、アジアではインドにおいて雨季の遅れなどの天候不順により散布機会が減少したことなどからNichino India Pvt. Ltd.の売上高が低迷しました。これらにより、海外販売全体の売上高は前年同期を下回りました。

これらの結果、農薬事業の売上高は207億23百万円（前年同期比17億13百万円減、同7.6%減）、営業利益は12億59百万円（前年同期比12億98百万円減、同50.8%減）となりました。

#### [農薬以外の化学品事業]

化学品事業では、株式会社アグリマートの防疫用殺虫剤の売上高が伸長しました。医薬品事業では、海外向けで需要が減少したことなどから外用抗真菌剤ルリコナゾールの販売が伸び悩みました。

これらの結果、農薬以外の化学品事業の売上高は10億77百万円（前年同期比74百万円減、同6.4%減）、営業利益は2億88百万円（前年同期比78百万円減、同21.5%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ29億97百万円増加し、1,396億49百万円となりました。これは、現金及び預金の減少を上回る棚卸資産及び投資有価証券の増加が主な要因です。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2億1百万円増加し、637億29百万円となりました。これは、借入金増加が主な要因です。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ27億95百万円増加し、759億20百万円となりました。これは、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額及び親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加が主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月11日公表の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,644	9,832
受取手形、売掛金及び契約資産	38,869	37,179
電子記録債権	2,064	4,679
商品及び製品	27,658	31,840
仕掛品	978	933
原材料及び貯蔵品	13,236	13,210
その他	4,756	4,462
貸倒引当金	△589	△634
流動資産合計	102,619	101,503
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,103	4,047
機械装置及び運搬具（純額）	3,629	3,624
土地	5,856	5,922
その他（純額）	1,713	1,850
有形固定資産合計	15,303	15,445
無形固定資産		
のれん	2,594	2,750
その他	1,503	1,533
無形固定資産合計	4,097	4,284
投資その他の資産		
投資有価証券	7,552	11,035
その他	7,085	7,387
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	14,631	18,416
固定資産合計	34,032	38,145
資産合計	136,652	139,649

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,519	19,978
電子記録債務	1,010	901
短期借入金	10,940	12,976
1年内償還予定の社債	—	1,569
未払法人税等	759	606
賞与引当金	856	373
環境対策引当金	18	18
その他の引当金	51	—
営業外電子記録債務	150	255
その他	10,253	10,301
流動負債合計	44,560	46,981
固定負債		
社債	5,315	3,926
長期借入金	10,167	9,781
退職給付に係る負債	826	844
その他の引当金	186	164
その他	2,470	2,029
固定負債合計	18,966	16,747
負債合計	63,527	63,729
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,939	14,939
資本剰余金	15,071	15,071
利益剰余金	42,123	42,531
自己株式	△1,907	△1,907
株主資本合計	70,227	70,635
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	956	1,205
繰延ヘッジ損益	—	△11
為替換算調整勘定	△1,985	153
退職給付に係る調整累計額	1,716	1,680
その他の包括利益累計額合計	688	3,028
非支配株主持分	2,209	2,257
純資産合計	73,125	75,920
負債純資産合計	136,652	139,649

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	24,015	22,183
売上原価	16,460	15,992
売上総利益	7,554	6,191
販売費及び一般管理費	4,773	4,805
営業利益	2,781	1,385
営業外収益		
受取利息	44	431
受取配当金	54	109
不動産賃貸料	26	25
為替差益	1,254	1
持分法による投資利益	368	347
その他	45	8
営業外収益合計	1,795	923
営業外費用		
支払利息	158	585
デリバティブ評価損	1,312	363
その他	20	34
営業外費用合計	1,490	982
経常利益	3,085	1,326
特別利益		
固定資産売却益	—	3
投資有価証券売却益	—	4
特別利益合計	—	7
特別損失		
固定資産処分損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	3,085	1,332
法人税等	581	320
四半期純利益	2,503	1,012
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	△25
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,509	1,038



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,503	1,012
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	115	247
繰延ヘッジ損益	△188	△22
為替換算調整勘定	1,905	2,102
退職給付に係る調整額	△12	△35
持分法適用会社に対する持分相当額	199	139
その他の包括利益合計	2,019	2,430
四半期包括利益	4,522	3,443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,335	3,378
非支配株主に係る四半期包括利益	187	64

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,437	1,151	23,588	426	24,015	—	24,015
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	—	7	176	184	△184	—
計	22,444	1,151	23,596	603	24,199	△184	24,015
セグメント利益	2,558	367	2,925	72	2,998	△217	2,781

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△217百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△217百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,723	1,077	21,801	381	22,183	—	22,183
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	—	4	179	184	△184	—
計	20,728	1,077	21,806	561	22,367	△184	22,183
セグメント利益	1,259	288	1,548	53	1,601	△216	1,385

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△216百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△216百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。